

2016年度前期 貿易論 期末試験

[第1問]以下の用語から1つの用語を選択し、5行程度で説明しなさい。

(10点)

- ① WTO 紛争処理委員会(パネル) ②パナマ運河拡張工事 ③先進国回帰
④排ガスゼロ車 (ZEV) ⑤総合商社赤字決算 ⑥サプライチェーン
⑦円高デメリット ⑧非関税障壁 ⑨有機 EL ⑩アイデンティティ

(解答は、貿易論解答用紙Aに記述すること)

[第2問]以下の設問から1つを選択し、10行程度で論述をしなさい。

(25点)

- ① C.K プラハラード著『ネクスト・マーケット』について
②日本の国際収支の現況と今後について
③中国の鉄鋼過剰生産とアンチダンピングについて
④パナマ文書とタックスヘイブンについて
⑤最近の東京外国為替市場ドル為替レートと近年の円の為替変動について
⑥付加価値基準の貿易統計について
⑦ WTO とドーハラウンド交渉について
⑧比較優位の原則と企業経営について
⑨アジアインフラ投資銀行と中国の経済政策について
⑩日本企業のガラパゴス化について

(解答は、貿易論解答用紙Aに記述すること)

(問題は裏面に続く)

【第3問】以下の語群のA群から1つ以上、かつA群、B群から合わせて5つ以上の用語を用いて、論述しなさい。(45点)

なお、必ずテーマを明記し、使用した用語には下線を引くこと。

論述にあつたて図表を用いても良いが、箇条書き、単なる語句説明は不可とする。

(解答は、貿易論解答用紙Bに記述すること)

(語 群)

A群				
ソブリンショック	ブレグジット	共同主権	RCEP	AEC
B群				
多角的通商交渉	適地生産	所得格差	知的財産権	政府調達
米国大統領選挙	共生	双子の赤字	移民	地政学
投資協定	大筋合意	地理的表示	範囲の経済	並行輸入
保護主義	重要5品目	貿易創造効果	バイオ医薬	原産地規則
量的金融緩和	国家市場主義	関税撤廃率	欧州中央銀行	戸別補償
短粒種	無税の輸入枠	債務減免	衛生植物検疫	最恵国待遇
国有企業	非参加国	国家貿易	ギリシャ債務	難民
チャイナ・プラス・ワン	デフォルト	デフレ	ニクソンショック	反グローバル
フェアトレード	リージョナリズム	ホスト国	環境NGO	メガFTA
リーマンショック	ポピュリズム	ラウンド	マークアップ	パートナーシップ
AD	RTA	ISDS	BOP	FTAAP
EPA	ILO	TTIP	G20	LDCs